

平成 24 年 10 月 1 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 村山 正憲
電話番号 03-5730-2641

新たな HGF 医薬特許が成立 (日本)

ーリンパ浮腫が対象ー

当社は、日本において、HGF 遺伝子によるリンパ管新生促進剤を対象とした医薬用途特許が成立し、特許公報(特許第 5036057 号)が発行されたことをお知らせします。

本特許発明は、HGF 遺伝子を活性成分として含有するリンパ管新生促進剤であって、患部またはその周辺に筋肉内注射により投与されることを特徴とする薬剤に関するものです。本特許は、先に成立したリンパ浮腫の予防または治療用の薬剤を対象とする特許 4111993 号と合わせ、HGF 遺伝子によるリンパ浮腫の新しい治療法を多面的に保護するものです。

リンパ浮腫とは、リンパ系障害によって組織液がリンパ管に戻れず皮下に貯留し、四肢に高度の浮腫を来す難治性疾患で、発症原因が不明の「原発性 (一次性) リンパ浮腫」と、がん手術のリンパ節郭清の後遺症等が原因で発症する「続発性 (二次性) リンパ浮腫」があります。現在のリンパ浮腫に対する治療法は弾性着衣やマッサージなどの理学療法が中心ですが、対症療法であり中断すると悪化するため、患者さんは生涯治療を続ける必要があります。また近年では、自ら理学療法を実施しづらい高齢者においてもリンパ浮腫が増加しており、新たな治療法の開発が望まれています。

当社が開発する HGF 遺伝子治療薬「コラテジェン」は、末梢性血管疾患への開発を先行して進めておりますが、当社はリンパ管新生作用を用いたリンパ浮腫治療薬としての研究開発も開始し、先般 (2012 年 7 月 18 日) 厚生労働省より確認申請の指針への適合の確認を受けており、さらに 7 月 30 日には日本における原発性リンパ浮腫を対象とした治験計画届書を独立行政法人医薬品医療機器総合機構に受理されており、必要な手続きを進めながら治験の開始に向けて準備を進めております。

本特許の成立により、HGF 遺伝子によるリンパ浮腫の新しい治療法を更に強固なものにし、当社の当該開発プロジェクトを長期にわたり強力にサポートするものです。当社は HGF 遺伝子治療の他疾患への医薬用途についても順次特許を取得し、一層の特許網強化を進めてまいります。

本件による本年度業績への影響はありません。

以上